



学校だより第1号



神奈川県立伊勢原支援学校

令和5年5月19日

「まずは、周りの人たちのことから」

ゴールデンウィークも終わり、ようやく、平常の日課に戻りました。新学期が始まってからの約一か月間は、気持ちを整えるのに必死な毎日ではなかったでしょうか。子どもたちにとっても大人にとっても、毎年迎えるこの時期は、落ち着かない日々が続きがちです。5/8から、新型コロナウイルスの感染症法の扱いが変わり、今後の教育活動の充実度が少しずつ高まっていくと思います。

今年度は体育館の空調設備工事が予定されており、再び教育活動の制約が出ますが、むしろ、これまでの経験を活かした知恵やアイデアで、新たな活動を進めていこうと考えています。

伊勢原支援学校にも「ゆるキャラ」がいて、職員への発信文書にも登場させています。学校PR、情報発信はとても大事なことで考えています。特別支援学校は、地域の認知度や貢献度は、小・中学校ほどには至っていません。どんな子どもたちにも、できることがありますので、私たち教職員が、それを見つけ出し、積極的にPRしていきたいと思っています。

今年度から二年間にわたり、人権教育研究指定校になりました。神奈川県では、令和4(2022)年3月に、『かながわ人権施策推進指針』を改定し、「人権がすべての人に保障される地域社会の実現」をめざしています。言うまでもありませんが、人権は、誰もが持つ、侵されることのない基本的な権利です。私たち教職員が、子どもたちをはじめ、保護者の皆様、同僚の職員に対しても、お互いを尊重し合う・認め合う間柄にしていくことは当然だと思います。「利他の心」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか。自分の都合だけで行動するのではなく、まずは周りのたち人のことを考えることで、自然と助け合いという輪が生まれ、自分の視野も広がり、正しい判断にたどりつきます。

私たち教職員一人ひとりが、こうした心を持つことにより、自分を含めた全員の幸せにつながり、結果として、人権意識の向上にも結びつくはずで、大事にしていきたい考え方です。

校長 見目 茂則

「高等部新入生歓迎会を行いました!」

4月12日(水)に新入生歓迎会を行いました。



2・3年生のダンス発表を見た1年生は、「おーっ!」と喜んでいました。これからが楽しみです!

「分教室 新入生歓迎会」

4月11日(火)、伊志田高校の視聴覚室で分教室の「新入生歓迎会」が行われました。毎年、生徒会の生徒が中心となって司会をしたりパソコンを操作したりして、会をリードしてくれます。まず、3年生、2年生の順で一人ずつ前に出て自己紹介をしました。さすが先輩、楽しいトークを交えての自己紹介もあり、会場を和ませてくれました。次に1年生も一人ずつ前で自己紹介をしました。緊張しながらも、名前や趣味を皆に伝えることができました。また、校歌を歌ったり上級生からの「分教室クイズ」に答えたりしながら、楽しい時間を共有することができました。

「中学部 新入生を祝う会」

4月21日(金)に、中学部は新入生2名の歓迎会を行いました。

授業で作った名刺を交換してお互いの自己紹介をしました。学年を縦割りにしたチームで、オセロゲームで盛り上がりました。最後にみんなでダンスをして楽しみました。



「小学部 新入生を祝う会」

4月10日(月)に小学部で3名の新入生を祝う会を行いました。

新入生の入場時には在校生の温かい拍手で迎えられ、その後は学年ごとに自己紹介をしたり、大きいロープを持ってダンスをしたりして、楽しく交流することができました。さらに今年度初めて伊勢原支援学校に来た先生たちからダンスの発表もあり、手拍子などで大盛り上がるの会になりました!

